

## 【報告】第22回定期大会方針を実践へ

### 川辺川ダム建設中止を求める市民団体の署名運動がスタート！

社民党熊本県連合は、先の第22回定期大会において、「川辺川ダム建設に反対し、ダムによらない地域再生を目指す」方針を改めて確認しました。この方針を具体化する動きとして、現在、人吉・球磨流域の市民団体が中心となり、建設中止を求める大規模な署名運動が展開されています。

#### ■定期大会で確認された党の姿勢

大会で提起された情勢分析では、県内の社会経済が転換期にある中、水俣病の教訓を学び、地下水汚染の防止や河川環境の維持を優先すべきであると強調されました。

特に「7・4水害」以降、再び浮上した川辺川ダム計画に対し、党は一貫して反対の立場を堅持。地元支部や議員団、市民運動と連携し、ダムに依存しない持続可能な地域再生を推進していくことを運動方針の柱に据えています。

#### ■流域住民の切実な願い「川辺川ダム中止署名を集める会」

こうした党の方針とも合致する活動が、流域住民の手で本格化しています。3月8日に発足した「川辺川ダム中止署名を集める会」は、以下の3名を共同代表に迎え、党派を超えた市民の結集を図っています。

中島 康 氏(五木の子守唄の里・五木を育む  
清流川辺川を守る県民の会代表)

茂吉 隆典 氏  
(川辺川利水訴訟原告団団長)

林 通親 氏(ダムによらない復興を求める  
人吉・球磨の会代表)

同会は、来春に予定される人吉市長選を見据え、「人吉市民の過半数の署名」を目標に掲げています。市民の声を可視化することで、建設の是非を市長選の大きな争点へと押し上げ、計画をストップさせる考えです。

#### ■市民運動への連帯とご協力をお願い

人吉市に知己のある黨員・支持者の皆さまにおかれましては、本署名運動の趣旨(下記)にご賛同いただき、個人の立場での積極的な支援・協力をお願いいたします。

#### 【署名の意義】

私たちは「地域住民の命を水害から守りたい」「清流を守りたい」という願いをもつ全ての方々の力を結集し、有害無益なダムをストップさせたいと考えています。

#### 活動拠点: 署名活動事務所

(人吉市願成寺町246「願成寺ハス」)

#### 主な活動: 毎週土日の戸別訪問

(午前10時~12時、午後1時~3時)

#### 支援カンパ: 肥後銀行多良木支店

普通 1342159(川辺川現地調査実行委員会)

「ダムによらない治水」を求める市民の声が、今まさに人吉・球磨の地で大きなうねりとなろうとしています。党方針の実践として、この確かな歩みに注目し、連帯していきましょう。

#### 【本件に関する詳細・連絡先】

署名運動事務局: 越替 正典 氏

(090-7983-2101)

※事務所は

「くま川鉄道 相良藩願成寺駅」近くです。

社会新報熊本県版のバックナンバーは下記のアドレス、

右の二次元コードからご覧いただけます

[https://drive.google.com/file/d/1imqtoZT6gVr-xe6D0\\_zK7hwPN8N1KGBK/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1imqtoZT6gVr-xe6D0_zK7hwPN8N1KGBK/view?usp=sharing)

